

令和5年度 信学会安茂里幼稚園 「園の自己評価および学校関係者評価」

1 園の教育目標

『 みつけよう やってみよう かんがえよう  
 ～遊んでわくわく 大好きいっぱい 心も体も大きくなあれ～ 』

2 本年度の育てたい子ども像

『自ら ひと もの こと とつながる』

自分が好き・人が好きな子 楽しく挑戦する子 心豊かに表現する子

3 自己評価

A…十分達成されていると思う

B…達成されていると思う

C…取り組んでいるが、成果が十分でないと思う

D…取り組みが不十分であると思う

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	C
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4 学校関係者評価委員（モニター）からの評価

- ・子どもたちの「やりたい遊び」が十分にでき、その中で子どもたちが考えたり、準備をしたり、調べたりできる環境や保育者の関わりがある。異年齢で関わっていることが子どもの遊びの様子から伝わってくる。
- ・遊びの環境について深めていくとよい。意味のある保育環境から、子ども同士、保育者と子どもの関係作りができる。
- ・先生方が、外部の研修に参加をし保育の知識を増やしていることがよい。
- ・地域の子育て～がCであることが気になる。（情報収集の難しがある）

5 今年度の総合的な評価と次年度への課題

- ・日々の子どものたちの姿を通して、園の教育目標や保育内容にご理解をいただいていると感じた。先生方が教育目標を共通認識し、保育環境や子どもたちとの関わりを意識してきたことで、異年齢での自然なかかわりが多く見られた。引き続き、小規模園の良さとして異年齢での関わりを大事にしたい。
- ・地域における子育て等のニーズについての把握は難しさがある。保護者の方との会話から情報が得られるので、保護者とのつながりを丁寧にしていきたい。
- ・保育について職員同士で話す機会をあらたまった形でなく行い、保育にいかしていきたい。